

| | |
|------------|-------------------------------|
| 事業名 | 西之表市子ども食堂もポイントアップ！元年度アップ！推進事業 |
|------------|-------------------------------|

| | |
|-------------|----------|
| 総事業費 | 4,354 千円 |
|-------------|----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-------------|-------|-------------|
| 長期振興計画の位置づけ | 施策名 | 地域包括ケアの推進 |
| | 基本事業名 | 高齢者の社会参加の促進 |

② 実施 (Do)

| | | |
|----------|--|---|
| 事業の意図 | 各種互助活動を通して、グループメンバーの健康づくり、介護予防につながり、併せて地域活性化も図られる。 | |
| 事業の実績と成果 | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を周知し、各高齢者団体からのグループ登録申請を受理。 ・各グループから提出される活動実績に応じてポイントを付与し、商品券への交換及び配付を行った。 ・登録グループに対し研修会を開催し、活動内容の充実を促した。 |
| | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの高齢者が活動に参加することにより、参加者自身の健康づくり、生きがいづくりに繋がるとともに、地域づくり、地域経済の活性化にも繋がっている。新型コロナウイルスの影響により活動の減少も心配されたが、登録団体、人数ともに昨年度より増加した。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|-------------------------|---|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に続き令和2年度においても県の実綱が改正され、子育て支援や子ども食堂に関する活動にもポイントが付与されることになったが、活動実績のあるグループは16グループ (うち子ども食堂は1グループ) と少ない状況である。 ・令和3年度からは県の実綱改正に伴い、ポイントの交換上限額が8万円から6万円に引き下げられる予定である。 |
| 評価結果の根拠及び今後の課題 (担当課長記入) | <ul style="list-style-type: none"> ・登録団体、人数ともに年々増加しており、高齢者の社会参加活動が活発になるのは喜ばしいことではあるが、活動そのものよりポイントを貯めることが目的になっている面もあることから、改めて事業の趣旨等を理解してもらい、ポイント付与の対象活動の基準を整理する必要がある。 ・新型コロナウイルスの収束の兆しが見えない中であるが、高齢者が安心して活動できる環境づくりのための支援を引き続き行っていく。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|-----------|--|
| 2021年度方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は、事業内容の活動分類、高齢者支援活動と高齢者支援活動【うち見守り活動】・地域活性化事業のどちらか1つを選択して2事業以上の活動を行わなければポイントの付与が出来ないこととしている。又安心して活動が出来るよう、新型コロナウイルス感染予防の徹底を図る。 |
|-----------|--|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|--------------------------|----|
| | |

| | |
|-----|-----------|
| 事業名 | 老人クラブ育成事業 |
|-----|-----------|

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 1,728 千円 |
|------|----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 地域包括ケアの推進 |
| | 基本事業名 | 高齢者の社会参加の促進 |

② 実施 (Do)

| | | |
|------------------|--|--|
| 事業の意図 | 老人クラブの各種活動を通して、高齢者が生きがいのある自立した生活を送ることができる。 | |
| 事業の実績 と 成果 | 取組内容 | 老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金を交付し、それぞれの活動の財政的な支援を行った。市老連が主催するスポーツ大会や日頃の老人クラブの活動の様子を広報紙で紹介し、老人クラブへの加入や単位老人クラブの設立を呼びかけた。 |
| | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を交付することにより、それぞれのクラブの活動が円滑に実施されている。 ・令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響で市老連主催の研修等は中止となった。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|--|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の減少や担い手不足等の理由による単位老人クラブの活動中止（休止）等が課題である。 ・補助金関連の書類作成については市老連事務局にとりまとめを依頼しているが、高齢者は書類作成に不得手な方が多いので、窓口でも丁寧な説明を行い、書類作成の支援を行う必要がある。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 加入団体、会員数の増加を図るべく、市政の窓等で活動の紹介をするなど広報に努めているが、なかなか減少に歯止めがかからない状況である。老人クラブの魅力ある活動推進にむけて市老連の主体的な取り組みも期待したい。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|-----------|---|
| 2021年度方向性 | 市老連理事会に参加し、補助金の内容の説明や他市町村の活動の情報を伝達し、活動の拡大へ取り組む。 |
|-----------|---|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|--------------------------|----|
| | |

| | |
|-----|------------------|
| 事業名 | 在宅高齢者等健康維持活動支援事業 |
|-----|------------------|

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 1,684 千円 |
|------|----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 地域包括ケアの推進 |
| | 基本事業名 | 高齢者の社会参加の促進 |

② 実施 (Do)

| | | |
|------------------|---|--|
| 事業の意図 | 地域における通いの場で、感染症対策を講じて安心できる環境の中で、介護予防体操など、健康づくりや運動機能維持活動が行えるようにする。 | |
| 事業の実績 と 成果 | 取組内容 | コロナ禍により閉じこもりがちになった高齢者に対し、ロコモシンドロームやフレイル予防のため、感染症対策予防の物品として、フェイスシールド、非接触型体温計、消毒液や感染症対策ガイドラインの配布などを行い、通いの場における活動が感染症対策を講じながら継続できるよう支援した。また、運動時や家庭内での熱中症対策物品として、クールタオルや温湿度計の配布を行った。 |
| | 成果 | 感染症対策ガイドラインを遵守しながら、配布された感染症対策物品を日頃の活動の際に活用してもらい、活動継続につながった。熱中症対策に関しては、物品配布は好意的な反応が多く、夏季に向けて配布先での活用方法を確認する予定である。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | 家庭や通いの場で活用してもらったDVDについては、各地域の通いの場の参加者に協力をもらいながら、引き続き作成に取り組む。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 新型コロナウイルスの流行が続く中、外出自粛や社会参加活動に消極的な高齢者が増えることが懸念されたが、事業実施により、感染症対策に対する意識も高まり、活動の継続につながった。引き続き、正しい理解のもと、高齢者が安心して社会参加活動ができる環境づくりに努めていく必要がある。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|-----------|------------|
| 2021年度方向性 | 令和2年度で事業終了 |
|-----------|------------|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|--------------------------|----|
| | |

| | |
|-----|---------------------|
| 事業名 | ウィズコロナで元気度アップポイント事業 |
|-----|---------------------|

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 2,717 千円 |
|------|----------|

① 計画 (Plan)

| | | |
|-----------------|-------|-------------|
| 長期振興計画 の位置づけ | 施策名 | 地域包括ケアの推進 |
| | 基本事業名 | 高齢者の社会参加の促進 |

② 実施 (Do)

| | | |
|------------------|--|--|
| 事業の意図 | 健康維持や生きがいづくり等の社会参加活動に対して商品券に交換できるポイントを付与することにより、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の理解と定着を図るとともに、高齢者の社会参加を促進し、あわせて地域経済の活性化を図る。 | |
| 事業の実績 と 成果 | 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を周知し、各高齢者団体からグループ登録申請を受理。 ・各グループから提出される活動実績に応じてポイントを付与し、商品券への交換及び配付を行う。 ・「新しい生活様式」の理解と定着を図るため、事業に参加したグループ（会員）に普及啓発グッズ（手ぬぐい）を配布した。 |
| | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの高齢者が感染症対策を講じて活動に参加することで、「新しい生活様式」等の感染症対策に対する意識の向上が図られ、活動自粛による閉じこもりや運動機能の低下を予防することにつながった。あわせて商品券への交換により、地域経済の活性化にも繋がった。 |

③ 振り返り (Check)

| | |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題 (事業担当者記入) | <ul style="list-style-type: none"> ・年度途中の開始で、期間限定の事業であったため、当初見込みより活動実績は少なかった。 ・既存のポイント事業と区別するため、申請や活動実績報告等の手続きが煩雑になり、参加グループには負担が大きかったようだ。 |
| 評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入) | 新型コロナウイルスの流行が続く中、外出自粛や社会参加活動に消極的な高齢者が増えることが懸念されたが、事業実施により、感染症対策に対する意識も高まり、活動の継続につながった。引き続き、正しい理解のもと、高齢者が安心して社会参加活動ができる環境づくりに努めていく必要がある。 |

④ 改善 (Action)

| | |
|-----------|------------|
| 2021年度方向性 | 令和2年度で事業終了 |
|-----------|------------|

【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等 | 説明 |
|--------------------------|----|
| | |